京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

京城居留民團公文

京城居留民團告示第一號

京城居留民團區域內ニ居住スル者ニシテ明治三十六年四月ヨリ明治三十七年四月一日ニ至ル間ニ出產シタル兒童ハ來ル四月一日就學ノ始期ニ達スヘキニ付該兒童ノ保護者ハ三月二十日迄ニ入學證ニ寄留簿本ヲ添ヘ當民團役所ニ提出スヘシ

明治四十三年二月十九日

京城居留民團民長　古城菅堂

寄書

相當の覺悟を要す

旭川

過般憲兵會議へ列席の爲東上したる榊原韓國憲兵隊司令官は途次下關に於て韓內地に於ける公安狀態に就て往訪の客に左の如く發言せられたり

出發前平安道の鐵礦に向ひたるが爾來平穩の狀態にあり暴動の種類は二種ありて一は自ら義軍と稱する殘黨にして他は火賊の徒なる●義軍の巨魁は巳に之を逮捕處分したれば現今殘留せるものは其の部下に屬せし下士の如きもののみなれど附地方人民に歡畏せられつゝあるを以て新義軍の大將なりと稱し火賊の徒も亦之に乘じて義軍の如く裝ふより其の數幾何なるやを知らず唯目下多少の抵抗力を有せる地方は京畿道の北部と黃海道の兩地方にて京畿全羅乃至咸鏡平安道方面のものは誠に劣弱なれば未だ全く掃蕩し盡くしたりといふ能はざるも最早彼等の爲に公安を攪亂せらるゝ恐なく渡韓邦人にして地方に起業せんとするものは安じて事に從ひ得べしと信ず云々

嗚呼果して信なりや、嗚呼果して信なりや、余は榊原少將閣下の人格と、其の重大なる責任ある官職とに對して之れに反對なる言議をなすの頗る心苦しきを感ぜずんばあらず、然れども悲ひ哉、事實は遂に余を驅りて之れを顧慮せしめざるを奈何。

從來より引き續き各地を橫行せる閣下の所謂義軍なる暴徒は多く逮捕處分せられ火賊の橫暴又從來の如く頻繁ならざるは事實なるべし、否事實ならざる可らず、然れども其の『多少の抵抗力を有せるもの』とは何人に對して有せる抵抗力なるか、我が勇猛なる兵士諸君や、憲兵諸君や、警察官諸君に對しては元來多大の抵抗力を有したるものあるを聞かず、今更らしき閣下の言に聞くを須ゐず、然らば武裝せざる我農工商民に對して多少の抵抗力を有するに止まるとの謂か、若し然らんには閣下は事實を枉げ、己れを紿き、人を欺くものと云はざる可らず、日々の新聞紙上に見るべし、加かも此の日々報道せらるゝ事例は其の總てに非ざるを知らざる可らず、而して余の此所に此れを言ふ所以のものは決して韓內地に起業せんとするものを脅かさんが爲めに非ずして、相當の覺悟を以て韓內地の利源開拓に從事せよとは云ふ也。

順川は事古りたり、憲兵、警察官等の駐在せる安州の如き去る十九日の市場日に動亂あるを慮りて邦人官民の多くは前日若くは前々日より新安州へ避難したる程なりと云ふに非らずや。雜草園圃に蔓る幹葉をのみ除きて既に盡きたりと成さば他は其の恐を嗤はん、禍根深く地中に蟠れ、凡愚の徒之れを培ひ養ふこと斯くの如し、德を鋤とし、仁を鍬とし、威を天日の如くにして穿ち起し驅さざれば萌ね茂ること依然たらん。昔者、三世相に誤られて斃死したる徒あり、今人は心して他に誤らるゝ勿れ（廿四日稿）

雜報

東拓社債の使途

東拓會社が社債を發行すべしとのことは先日の紙上に於て既に報道せる如くなるが尙其の內容に就き聞くところに依れば同社の第一回拂込金は二百五十万圓なるも韓國政府の持株は例の驛屯土を以て拂込に代へたること故現金は百七十五萬圓にて開業以來今日まで使用したる總金高は貸付金に約二十五萬圓、二千町步の土地買入費約三十萬圓、諸給料其他に於て約二十万圓とのことなれば現存せるもの一百萬圓なるが金融部の資金は最早三四箇月の內に使用し盡すを以て會社は之れが擴張の方法として今期議會に金融部資金制限を解かんとして其の改正案を提出する計畫なりしも政府は之れが改正を好まざるより第二回の拂込を爲さしめんかとの議ありたるも僅かに百七十五萬圓を得るに過ぎざること故此際寧ろ社債を發行せんとの計畫あり大藏省に於ても贊同したる由にて其の社債總高は法律の規定に依りて拂込金の十倍即ち二千五百萬圓なれば東拓會社が今日斯程の資金を要せざるに付き之れを大藏省の預金部に償き必要に應じて引出さんとの議略ぼ決定し居れるが社債は頗る有望にして該に某佛國人の資金貸付方を申込みたる者さへある由なれば目下上京中の宇佐川總裁は曾禰統監と會して頻りに畫策しつゝあり多分社債の發行を斷行することに決定する模樣なるが前陳の如く二千五百萬圓の資金は一時に要せざる故韓國鐵道十一年計畫の三千五百万圓に對する半額を投資し以て十一ヶ年計畫を五ヶ年に短縮せんとて目下協議中なり

●國民經濟會の成立

漢江河畔鷺梁津の別莊に蟄したりと傳へられたる兪吉濬は其後某地方の旅行を終へて歸來するや屢々大韓協會の幹部連と相往來して密議を凝らすところあり又一面には推されて京城孤兒院長となり漸やく出動の鋒鋩を現はしたるが今又國民經濟會なるものを發起して其程惠泉館に市內知名の銀行家實業家を招き同會創立に關する發起人會を開催したるが同會の目的は韓國の產物を改良し貿易の發達を圖るにあり十五箇條よりなる簡單なる規則を編みたるが役員の撰擧、定款細則の議決は不日之を行ふ事に決したりと云ふ

地方通信

▲平壤通信

●●●●●電燈問題の前後　平壤に電燈業計畫の起りしは昨年中よりの事にして當時は仁川シーメンス商會の手にて其の計畫案を作成し官民相互の間に之が成立如何に就て協議したる事あり而して當時はシーメンス商會專らその經營の任に當らんとの意氣組なりしが其後龍山における日韓瓦斯電氣會社よりも電燈業經營の出願あり玆にその双互を照比して孰れが有利なるかを考量するの必要起りたるところ續て更らに黃嶽、モリソン等の諸商會よりも平壤電燈業の前途有望なるべきを豫想して相共にその出願をなすに至り事して其の紛々たる折柄偶々民團經營論なるもの起り民會議長初め數氏の議員は民團の現狀も財源の如何をも能く考へずして頻りに電燈業の民團經營を鼓吹し廻りたるも固と是れ行ふべからざる一個純然たる空論に過ぎざるを以て過回前便に詳報せし如く民會の同委員は事の到底行ふべからざるを見て頗る曖昧なる報告を民長に致し一時熱中せし民團經營論も玆に殆んど龍頭蛇尾に終りたるを以て結局今後は更らに各出願商會の條件を精覈して其の孰れかに平壤電燈事業を經營せしむるの外あらざるべしと

▲●●●●兼二浦鐵道工場　兼二浦における鐵道工場の移轉は平壤在住民の夙に希望する所にして昨年中商業會議所は情を具して其筋に移轉請願をなしたる程なるが今や平南鐵道の布設着手を見うの敷設も本年十一月一杯には竣成すべしとの豫想なれば平南線にして竣成の曉は鎭南浦への海陸接續に必要なる京義線支線たる兼二浦線は勢ひ其必要を見ざるに至るべく既に必要を見ざるに於ては兼二浦における現在の鐵道工場は他に之を移轉せざるを得ざるべし而して其の移轉に就ての費用及び移轉先に於ける建設費用等は京義線改修費の內より優に支辨し得べきを以て自然の結果兼二浦工場は之を平壤に移轉せしむる事となり玆に平壤在住民多年の希望を充たすことを得るに至るべしと聞く尤も平南線開通後その不必要に歸すべく兼二浦線は東拓會社に於て之を引受け將來興るべき甜菜業の原料又は其の之に依て作れる製糖の運搬用等に使用すべしとの說もありて兼二浦線は平南線開通後も依然存續さるべき形勢なきにあらざれども假りに斯かなりたる所にて鐵道工場は勢ひ之を平壤に移轉せしめざるを得ざるべし（二十三日）



日本銘刀傳

第五十三席　邑井一講演

此の頃の役者で有名なのは、故の團十郎、權十郎、家橘、澤村田之助、中村福助などが盛んの時分であつた、其の向ふを市藏が張つて、鞘當の狂言に、福助の伴左衛門を假花道から出して、自分は山三の役で本花道から出たと云ふので、魚河岸の若ひ衆が怒つて、捨て置くわけに行かねゑと、水神樓の祭禮に魚河岸に呼んで、頭から酒を打掛けた、此の時市藏が　市「サア魚河岸の若い衆に殺されりやア大阪役者の本望だ、サア殺して呉れろと、頭を突出したのを尙ほ打擲いた、夫れを新場の小安さんが仲に這入つて　安「俺に預けて呉れろ」と云つて、小安親分が扱つて是れから市藏を最負にして、魚河岸から幕を市藏と福助の兩方にやつた、是れが爲めに市藏は江戶で莫大の喝采を得て、大阪に歸つて、親父の民造にも自慢話をしたと云ふことでございます然るに會津の小鐵は、小安さんの爲めに身を曲げられたのが口惜しくつて堪まらねゑから、一番小安の野郎を斬つて行かなけりやア男が立たねゑと、何に思ひけん或る夜のこと不意に江戶に出で參り、新刀小鐵の一刀を携へて、其の夜は十四日の月冴ゑ渡る頃なれば、新場河岸をぶらり〳〵と時しも秋の半ばにして、吹來る風も身に浸み渡る、白博多の帶、黑の羽織、一刀をば隱くし持ちましたる事にして、小安さんの家にズツト來て　鐵「オ御免なせゑよ」○「へエ」鐵「小安さん家かい」何も知らねゑで故人になられた長吉親分　長「何誰でげすゑ」片一方に三房さんも居りまして　三「誰か來やうだ」ズツト這入つた會津の小鐵が　鐵「其所に居るのは誰だ」三「俺ア小安の身內の三房でがす」鐵「小安は何うしたゞ」三「今一寸他に行きました」鐵「其方に居るのは誰だ」長「小安ア長吉でげす」鐵「オイ、小安を隱し立をするない、會津の小鐵が此の間の怨み、小安の首を貰ひに來たと、隱し持つて居る一刀をズラリと拔いた、夏猶寒き氷の刄、況んや秋の月冴ゑたる、最中に出した名刀一閃こつちやア長吉さんが目盲縞の袷に、三尺帶で座つて居る鼻つ先に縮緬づくめの會津の小鐵が、長いやつを突附けて　鐵「小安を匿しやア命はねゑぞ」長「オイ、お前さんか會津の小鐵さんと云ふのは……話を聞きやア賈茶屋のことかで、大きな顏をお主がしたんで、親分が散々お主に文句を言つて別れて歸つた、夫れを遺恨に思つたんで、親分の留守を幸はひ飛込んだか、但しは知らずに飛込んだか、其樣ところは分らねゑが、小安を隱し立てするとは何事だ、親分は隱れるわけはありやアしねゑ、憚りながら此の長吉も小安の身內だ、身に寸鐵もありしやアねゑ、和郎を相手にするならば鉈庖刀でも持つて切合をやらうけれども、俺も男だ、サア斬んなせゑ、小安は居ねゑが長吉を斬んなせゑ、長吉で足りなけりやア三房も斬んなせゑ、噂に聞きやア京都ぢやア鬼神と言はれる小鐵兄、サア斬つて呉れ、水盤の水で產湯を遣ひ、年が年中白魚だ、鎌倉河岸の松魚喰ひ、酒は灘の正宗か、但しは四方の瀧水より外に飮まねゑ新場の小安、その片腕と賴まれて、人に知られた長吉だ、流れも淸い大川の鯉ぢやアねゑが、これつばかりも惡味つ氣のねゑ江戶つ兒だ、人に知られた新場の長吉、斬るなら斬つて見るが宜いや、首を延ばして會津の小鐵を見上げた時に、流石の小鐵も二ツコリ笑つて　鐵「長吉さん濟まねゑ、和郎がさう云ふ心ぢやア、小安もなか〳〵見上げたものだ、此間の無禮は許して貰はう、當つて碎けろ江戶氣性、俺も生れは大阪だが、親父ア而も會津の家來德川家の流れを汲む、お主の命を貰うた所で幅が利かねゑ、長吉さん又近日お目に掛りませうと流石の小鐵も長吉の心に感心して立歸りました

東京電報

●王子御命名式　北白川宮王子殿下に本日御命名式行なはせられ永久王と名らる天皇后兩陛下より御祝品御下賜相成たり（廿五日）

●憲兵隊長會議　谷田憲兵司令官は神原駐劄憲兵隊長以下各憲兵隊長を東京に召集し明二十六日より一週間憲兵司令官邸に會議を開く谷田憲兵司令官は會議の初日一場の訓示演説を試むべし（同上）

●無線電信調査　我が陸軍にては日露戰役の終りより實施し來りたる無線電信研究は爾來一通りの研究を了したるを以て更に進んで軍事計畫要項上に關する調査をなさしむる爲め今般陸軍無線電信調査委員會を組織し委員長に落合工兵監を委員に井上工兵大佐以下六名を任命せり（同上）

●師範校長會議　文部省にては來る五月を以て全國師範學校長を召集するに決し各府縣より提出問題あるべし（同上）

●公債借替方針　政府は第一回四分利公債借替の好成績に顧み三月五日更に巨額の大藏證券現金償還三月末日國債一千萬圓を償還し四月末日二千乃至三千万の現金償還合計六七千萬圓の資金を民間に放資し第二回四分利公債一億乃至二億をシンヂケートに引受けの保證を爲さしめて發行し五分利公債の借替を實行せんと計畫し目下準備中なり

●米觀光團入京　第二回米國觀光團七百八十名は今朝横濱に上陸入京せしが日光、鎌倉、江の島等の遊覽に赴き歡迎頗る盛んなり（同上）

●不當支出決定　決算第四分科會は外務省所管關東都督府の經常部二千餘圓の支出に關し政府委員の答辯ありたるも會計檢査院の報告通り不當支出を決定したり

●日韓瓦斯配當　日韓瓦斯會社は本日株主總會を開き決算報告營業報告等を承認し配當五歩案を可決し更に臨時總會を開き増資を決定せり（同上）

●社外船主恐慌　關稅改正案中船舶稅率は重量總噸數一屯に對し十五圓と改め從來の從價稅に比し激增し居ると此程に至り確定したる爲め無保護航主即ち多數社外貨物船主は一大恐慌を惹起せり（同上）

●陸軍の自働車試驗　昨今陸軍技術審査部にて研究中なる自働車は組織して今回成る自働車隊を組織し距離強行軍を試み居れるが其結果に依り戰時輜重兵に代り戰場後方勤務に當らしむべしと

桑港電報

●清兵西藏侵入　支那兵二萬五千より成る一團は武器を携帶して西藏に侵入したるが其目的は西藏と印度の國境に駐屯せんとするに在りと

歐洲電報

●獨逸皇弟參列　獨逸皇帝の皇弟ハインリッヒ親王には英國皇帝の第二回國議會の開院式に參列せらるべし（廿四日）

●墺國外相歡迎　墺匈國外務大臣エーレンタール男は訪問の爲め伯林に到着し諸新聞紙は頗る懇篤なる歡迎の辭を揭げたり男は獨逸皇帝に謁見し御陪食仰せ付られ獨逸宰相は男を正賓として晩餐會を開きたり（同上）

●土國廢帝發表　土耳古サロニカの廢帝は正式に發表せられたり（同上）

●希國太子轉地　希國皇太子殿下はプリンジッセより獨逸國ライン河畔フランクフールに赴かれたり諸會の憤激甚だしきを以て當分亞典歸京は困難ならん（同上）

紐育電報

●韓儲歸國は虛偽　昨今韓國皇太子御歸國の風說を傳ふるものあり中には早くも其の御日取さへ揭載しれるものあるも皆虛說なり尤も伊藤公の在世中は太子の發意に依り御來朝の太子在世の如く御歸國の事もあるてどなれば御課の急なる事なきのみならず公は於て御歸省を御勸め申したる事なく太子に對しても御歸國の方に至らず差當り今日輔育主任たる人も御歸省の事を申上げんとの腹案ありしも之れなきのみならず太子の要請する所なき位にて希望杯は全く跡方もなき事なり且つ太子に於ても御歸國の希望なき御模樣にて曾て人の言上しける際にも「他日成業の日あらば必ず歸來すべし」云々と仰せられしのみにて其後は其等の御言葉さへなし左れば御歸省の事は今後若しあるとするも夏期御休暇中御伴し得る時期に至らざる限りはなしと斷言するものあり又之は本國に於て太子に對し妃御冊立の內議ありと風說するものあれども是れ赤膽說に過ぎずと云ふ

●合邦問題の解決　曾禰統監は過般上京以來統監政治の改善に關して案を具して廟堂の議に附し高官の更迭斷行について更に理事廳と觀察府との合併をも行ひ地方行政にも手を染めん希望を有したるが一方合邦論については政府の大方針既に決し唯機にその機會の到るを待ちつゝあるに過ぎざる事情もあり旁右の諸案は今日之を行ふの要なきの感もありこれ等の爲め統監の歸任も未定の理にあり總務長官の人選も亦殆ど忘れられたるの形をなし居れるものなるが根本の大問題が昨今に至り愈よ其解決の時期近ける如く目下最も注意を要すべき者なりと

●治道費の內定額　近頃參與官會議の大問題たる治道費は豫算の按排上未だ確定を見るに到らざるが大体に於て十三道路の竣成不足額二十五萬餘圓北韓道路の追加額七万五千圓兩韓歸順暴徒使役道路工事補足二十一万餘圓と外に新道路四十六里を計畫するに內定したりと尙ほ京城街路修繕及改正計畫は未定なるが兎に角以上內定道路に對し近々追加豫算を編成して同會議に付議せらるべき筈なりと

●昨今の漢城政界　數日來の東京電報は頻々として日韓關係の解決近きに在るを報じ來り之に伴ふ漢城政界の反響如何を窺ふに諸說紛々として東西に潛び延いて起る韓人一流の温突會議三々伍々到る處に催されつゝあり要するに這般東電に對する彼等の觀測は一進會一派の製造なりといふものと十八日の日本閣議に重きを置けるものとの二者なるが如し而して孰れも斯くある可し位の夢想觀なれば疑惑の雲霧は到底一掃する能はず思へば思ふ程解からなくなり此極戰々恟々として得意の陰謀に餘念なし殊に此頃承事府總管趙民熙氏が甞て日本に留學したる柳東欽在鱗の二名を召し密かに因果を含めて曰く汝等李朝の恩に浴し韓の粟を喰む以上國難に殉する覺悟を忘るゝ可からず而して數百の日本留學生は最も危險なれば宜しく汝等よく固く戒告し遣はすべしと諭示し聲涙交々溢ければ兩名も痛たく之に感激せられて退出せりと傳へらる其他有象無象の混沌たる光景は近頃の奇觀なり（電通）

●國境警察の充備　淸國政府は臨江縣帽兒山一帶の地に各般の經營を企て現に同地を起點とし通化縣に通ずる道路及通化縣を起點として長白府へ達する道路の開鑿を起工し或は奉天安東縣間及吉林通化縣帽兒山間の電信を計畫し其他採木公司使役の木把三千八等を合すれば彼是渉からざる淸人の來集を見るに到れり淸國は是等經營の爲め知縣熊莉孫採木公司分局長朱光忠守備隊長右哨長王允文騎兵隊長張振那巡警局長韓永勝等の諸官を配置し之に附隨せる數多の兵卒巡兵駐屯せり而して若し解氷期に際し吾が營林廠の役夫を混交して流筏事業を開始するに到らば兩者の葛藤を釀起せん事必中の例に徴するも明かなり然るに韓國現在の國境警察力は到底此場合の警備として不足を感ずるを以て相當增員方を該地駐在官より申請し來りたりと

●李總相の全快謝狀　李完用氏は創痍全く平癒せしを以て廿三日各方面へ慰問に對する謝狀を發す

●巡邏船と沿岸韓民　去る十四日警備船第一二號の二隻は須古警察署を乘せ智島郡箕佐島及び八禽島方面に巡邏施療をなし十六日木浦に歸着したるが箕佐島は智島郡に屬する大島嶼にして人口約五千二百餘、概ね農業を營み漁民は極めて尠なし八禽島は箕佐嶋と一條の水路を隔てゝ相對し住民約三千八ありこれ又概ね農業者多し同地方は荷玉島、慈恩島等數多の島嶼あり海軍根據地を設置すべしとの風評ある八口浦は頗る良港灣を形成し比較的有望の方面なりと雖從來其交通機關の設備宜しきを得ざると漁業上の大なる關係なき爲め八禽島に木浦鹽業株式會社の出張所、土地の購入、小口貸金をなしつゝあるもの及び玉島にて農事を經營せる者一名の外邦人の住する者なく警備船着後直ちに面長里長を召喚し須古警察署より施療の件及び人民と警察官の關係等縷々懇話するところあり翌十五日箕佐島及び八禽島にて診斷を行ひたるに齊藥治療を受けたる者三十四名その模樣を觀望せんとて門前に集り來るもの百數十名いづれも厚くその恩に感じ居たりといふ

●會計巡查の入所式　昨二十五日內部に於ては會計事務講習會に列席すべく入京したる各地巡查の入署式を行ひたるが愈々今二十六日より講習を開始する事となるべく講師は目下交渉中なるも度支部吉松書記官會計檢查局服部副檢查官內部武石會計課長其他三四の主事警部にて科目は經濟大義、財政及會計法、物品出納、豫算決算證明簿記等なるが毎朝十時より午後四時迄講習を行ふ筈なりと云ふ

●韓國會計法の改正　現行の韓國會計法は光武十年の制定にして爾後時々修正を加へ來りしも時代の進運と事務の發展は現在法に適せず茲に根本的の改正の必要を生ぜしに就き昨冬來度支部に於ては同關係高等官の間に於て協定中なりしが昨今に至り既に其大部を議了するに至りしが近日成案として發表するに至るべしといふ

●國有漁基調查併行　農商工部は度支部より引繼を受けたる國有漁基に就ては再應調查を要する點あるを以て免許漁業出願に對するものと實地調查を併行中なりしが該漁基從業者の權利は三月末日限なる故遲くも同月中旬迄には之を完了せしむべしと

●龍山民團と衛生費　龍山民團にては二月末日迄に精算して警視廳に納附すべき衛生費中一千二百餘圓の不足を生じ大久保民團長より種々交渉するところありしも結局警視廳にては右不納の金額に對し差繰の上期間中に納附すべきやう回答したり

●留學生の新聞發刊　去冬薬を終へて歸京したる留學生柳承欽、崔麟、祭喜斗等は頃日來韓字新聞發刊の計畫ありて程明月館に於て諸般の協議をなし近々發刊すべしと云ふ

●中學校充用の建物　景福宮內の一家屋を充用すべき說ありし京城中學校は其後種々交涉の結果都合により他に撰定する事となり多分西大門外の某宮內府家屋に改定すべしと

●共進會出品事務所　福岡市に於ける九州沖繩聯合共進會韓國出品事務所は福岡市西湊町三十二番地安金武平方に置かるゝ由なりと

●無罪放免慰勞宴　西北學會所屬會員等は廿四日午後六時より中部慶泉舘に兇漢安事件の連類として拘束せられ先頃無罪放免となれる李甲安昌浩金明濬李鐘公等を招待し慰勞宴を張れりと

●ハリス博士招宴　松井警務局長は豫て入京中なるハリス博士を主賓とし小松、俵、若林等の諸氏約十名を二十五日午後一時京城ホテルに招待したり

●高等學校卒業式　來月末日漢城高等學校にては卒業式を行ふ筈なりと

京龍合併と龍山

京城龍山兩民團合併問題は爾來着々進行し特に其提案者は龍山に在りて而かも嘗て猛烈に反對したる人々なりといふに到りては前途の好望推知するに難からざるなり今茲に龍山側の合併主張意見を聞くに

▲龍山は田舍　是れ京城より見たる龍山なると共に龍山より見るも爾かく感ぜさるを得ず現に街區は間隔なく櫛比し何れが京龍なるか判明に苦むが如き若し之を神戶兵庫、福岡博多の兩地に比せんか如何の感をか爲す以上兩地の半ばだにも達せざる猶額大の小地域に於て二個の行政機關を有するは實に奇なる現象たるのみならず田舍視せらるゝ龍山の大損失なり

▲兩立の利害　更に京龍兩民團附主の點より見んか京城は次第に南進せんとし龍山は徒らに現狀維持に困難を感じつゝあり現に京城民團は龍山新市街なるものを設定し數百の人口を有し之が爲めに近く一學校を起すべく必要に迫りつゝあり尤とも該市街在留兒童は龍山校に通學し居るも學童は之を喜ばざるを以て其計畫を促がしつゝあるが如し一方龍山は市況甚だ振はざるも苟くも自治機關有る以上は毎に積極經營を怠るべからず若し民團の合併を遂行せんか相互各別の設備の爲すの必要なく隨つて京城のみならず龍山の大利益也

▲龍山と京城　京城は漢江を抱ける龍山ありて其價値を成し龍山は亦京城ありて其存在を高む兩者個立するは膨脹的趨勢に背反するの甚しきものなり今此背反の爲めに蒙る龍山の損害は如上地域的鼻下の觀念と兩立の不經濟とのみならず個人的損害に到りては舉げて數ふべからず則ち商業的關係よりすれば龍山は京城の通過地なるに兩者分立の爲め感情の背馳を來たし這般密接なる研究と一致を遂ぐる能はず其他電話特別手數料の如き又土地家屋關係の如き屈指に遑あらず是相互の大損害也

▲龍山の現狀　民團設立當時は幾多發展の希望を有したる爲め合併を躊躇せしも其後の趨勢は事悉く豫期に乖き市況は彼が如く不振を極め資本は徒らに固定して落寞たる街區の光景寧ろ意外なり然るに一方行政の費用は却て積極を要するも消極を强ゆる能はず故に此際從來の感情若くは區々たる体面問題に拘泥せず合併を主張する所以なり是れ龍山の利益たるのみならず亦京城の大利益なり云々（電通）

模範漁村の發展

南韓沿岸に於ける漁魚經營は漁業法發布以來本國各府縣の漁基獲得と共に長足の發展を見るに至りしが就中巨濟島長承浦方面は漁魚上最好の地勢を占め且本國より最短距離に位し出漁上にも幾多の便利を有するに就き最近永久的に日漁夫の來住する者百數十戶の多きに上り尙は本年內には三百戶にも達すべき見込あり同漁地は目下韓海に於て日人漁團の最大漁村にして模範漁村の名高き地區なるが他同島知世浦の香川縣根據地たる香川村統營對岸の岡山村羅老島の岡山村等も漁業の成績頗る良好なり其他巨文島に於ては昨秋來鰤の豊漁により大に活氣を呈せり尙は鰤の根據地たる方魚津は本海岸唯一の漁港となり戶數百廿を算ふるに至り日本人會をも組織したるが水產組合補助の下に漁港設備に着手せん準備中なりと

●沿岸航路補助問題　仁川を基點とせる沿岸航路補助金請願問題は久しく行惱みの觀あり何時解決すべくも見へざりしが今回信夫理事官及び奥田氏の斡旋にて加來榮太郎氏を代表者たらしめ組合員は沖津戶十郎、木村濟太郎、慶田利吉の三氏として其筋に請願する事に決定せしが今聞く處に依れば以前本組合員たりし立石幹、柴田孫兵衛、荒木助太郎の三氏は無條件にて脫する事となり去る廿三日淺岡森、太田の三銀行支店長等立會の上妥協成立したるものなりと云へば先づ該問題も之れにて圓滿なる解決を告げたるものとすべく次で起るは補助金下附成否に關する問題なるべし

●義州の日本觀光團　義州府尹徐相勉は來る四月福岡市にて九州沖繩聯合共進會開設を好機とし觀察を兼ね觀光渡日團を組織せん事を發起したるが同地有力者九名之を贊し續々申込希望者あり既に廿餘名に達しれるが往復旅費五十圓雜費二百圓の見積にて其筋へ認可を申請しれれるが認可の上は義州觀光團として渡日する由

●西本願寺別院新築　西本願寺仁川別院は今回本山より金三千圓を下附され在留信徒より二万圓の寄附金を仰で寺町に新築する事に確定したる由なるが工事は解氷期を待ち來る四月早々着手せらるべしと云ふ

●商品陳列所の開館　農商工部商品陳列所は過般來福岡名古屋兩共進會出品物荷造りの爲め休館中なりしが愈々出品物の發附も終了し從前通り開館し一般觀覽に供しつゝあり

●長崎貯蓄利子引下　當地各銀行に於て一般預金利子を引き下げられたるに依り第十八銀行にては其の代理取扱にかゝる長崎貯蓄銀行預金利子を二厘方引下げたりと云ふ

●全北の物產品評會　全羅北道全州種苗場及び全州地方金融組合聯合の全北物產品評會は來る三月十八日より向ふ十日間全州に開く由

●尾崎犬養兩氏來韓　尾崎行雄、犬養毅の二氏は帝國議會の閉會後政況視察の爲め來韓する由當地某氏の許へ通知し來れりと云ふ

●林業事務所長歸任　林業事務所長會議の爲め上京中なりし各地同所長廿四日出發夫れ〳〵歸任す

●龍岩浦燈臺局長　龍岩浦燈臺局長三浦義隅氏は廿四日來仁旭屋に滯在中

●主計少監の來仁　佐世保工廠需品庫主管福島主計少監廿四日來仁したり

●大庭貫一氏入京　平壤民長の同氏は釜山の歸途二十四日入京浦尾へ投宿

●大島技師の入京　技師大島十郎氏は一昨二十四日入京し天眞樓に投宿す

●坂本警視の退京　滯京中なりし忠北警察部長の同氏は二十四日出發歸任す

龍山通信（廿五日 支局報）

▲奇特者賞與　龍山小學校建築に際し一般居留民より金品寄附ありたるを以て其行賞を當事者より其筋に請願中の處統監より木杯及賞狀下附せられ去る廿四日付にて理事廳より民役所へ廻達ありたれば今明日中に夫れ〳〵傳達せらるべく其數は木杯八十五個賞狀百五十九枚計二百四十四人なり▲陸軍紀念日　來月十日軍司令部に於て盛典を擧行せらるべきは既報の通りなるが龍山料理店の各藝妓連三十名計りは餘興として手踊及模擬店を周旋する事に決し昨廿五日午後御園館に於て其下稽古を爲したり▲中村副官　山根侍從武官に隨行して北韓方面に出張したる中村軍司令部副官は一昨二十四日歸任したり▲礒部主計　礒部二等主計は經理部事務視察の爲今二十六日鎭山鎭方面へ出張

▲治外法權▼

別項所載の如く尾崎、犬養兩氏は議會閉會後視察の爲め渡韓するそうだ斯樣な連中が仔細に視察して議會で質問でもやつて來れると賴母しいがドーモ大內先生ぐらいでは必細い話だ▲八百長取組みに上手な現政府でも犬養氏と來ては一寸離まり難い、況んや不器用な現統監府諸公連には到底手に了ぬでわらふ▲盤甲將軍が上乘だ、彼は簡にして要を得て居る之に次ぐのは武富だらう大石は土佐の產だから開けるのだ、若し大石を武州熊谷に生れしめ、加藤裏天を土佐に生れしめれば擇ぶ所はあるまい、尾崎や竹越は只だ饒辨を弄するのみで大演說と云ふ事は望まれない▲ソコになると故井上毅が數百人以上の集合で感風堂々辨論風を生じ人をして傾聽せしめたのは美事であつた、尤も此男は二三十人の小集會では言はんと欲して言ふ能はざる趣があつたので、當時彼奴は多數の集會では人を壓倒しながら少數者の席では豚更、情に訴へるが爲め訥辨らしく裝ふて居る喰物だと評されて居つたが、蓋棺の定評彼は啖物でもなく是が全く雄辨の人であつたのだ▲今では斯う云ふ辨者が無くなつた、島田三郎の熱心と舌の廻轉の速度には感服するが畢竟巧みなる素讀に過ぎぬ、故佐々友房は演說は下手であつたが座談にかけては日本一であつた▲併し此辨論評は雄辨家たる井ノ角氏にして初めて出來るので遂し當を得たものであらふ

●麻浦架橋問題の内情（二）

無謀なる當局の許可、尙他に二ケ所を新設せんとす、共同物置場の獨專許可を取消さざれば設計を改めよ

▲韓人の反對　仰も麻浦渡船事業なる者は數年前より京龍仁面の韓民等しく着目し居たりし問題にして既に昨年來よりの出願者の如きは非常なる數にして皆夫々別樣の案を具して許可を得ん事に汲々たりしが遂に昨年九月出願なしたる上田充の運動功を奏して諸提案中最も不利不便多き船橋案なる者に翌十月許可の内定を見るに至りたる者也而して該渡場現今の狀態は韓人渡船數十艘にて日々平均牛馬六百人員約千人を載せつゝあるが此の賃金牛馬八錢人二錢の割なるを以て一日の收入概算七十圓許さなる譯にして而も之あるが爲めに糊し往く韓人は百五十名餘にして若し万一該渡船場を他人の手に奪取せられんか刻下に彼等百五十名の失職者を生ずる次第なれば所謂船橋問題なる者一度彼等韓人の耳朶を叩くや其騷動は一方ならず頻りと反對を唱へ出し流石の上田も之が慰撫納得策には閉口し到底個人の力にては及ばざるを見るや遂に頭梁株の面長を内部に同行なしれ役人の威力を以て怒鳴り付け漸やく無理往生に承知せしめ韓人側には何等反抗の意志なしと吹聽して官邊を繕ひたり誰か食膳の箸を奪ひ去られて喜ぶ者あらんや彼等韓人とて人の子なり一時の威壓にてこそ屈したれ其の反對熱は愈々熱烈にして若し萬一船橋開通の如き場合生したりとせんが或は大阪巡航船的の活劇を演ずるやも計り難し

▲共同物置場　昨紙に概要を記載せる如く該渡船場に從來荷物陸上場として共同使用の土地となり居たる千八百坪の地所あり今回船橋許可と同時に是をも當局は上田一人に貸下げて彼が奸譎なる金儲の資に供せんとせり、借問す當局者は該千八百坪の地所が日韓兩水運業者等にそも幾何の利害關係を有し居るかを細密に取調べしか貸下の口實は漢江汎濫の際船橋を避難せしむると云至極單純なる者に過ぎず何も之が爲め態々該地所の貸下を上田一人に與ふるの必要何處にあるか共同物置場が上田一人には使用出來ざる性質の者なれば兎も角江水汎濫せば勝手に該場所に避難すれば事濟む迄の話にして是を上田なる一個人に貸下ぐるの理由更になし當局者は斯く迄しても一上田なる者を利せしめざるを得ざる義務あるにや、一利なくして百害生ずる該地所、よしや上田に是を貸下げずとも彼れ一人は何等の痛痒を感ぜざるべきも是が爲に蒙むる水運業者等の不利損害は幾何なるど知るや萬人を殺して一人に利益を壟斷せしむるが如き該貸下は吾人の斷じて許さゞる處なり

放駒復脫走す

▽斯うなるが當り前　放駒が東京脫走事件にて紛々に紛々を重ね遂に伏見の勇山が顏を出すことゝなり双方に渉つて漸く元の鞘に納りしは昨年夏頃の事なりしが爾來稽古も勵み一月場所も好成績を得たれば再び狂ひ出すやうの事はあるまじと思ひの外本月中旬の名古屋相撲を打上げ瀬戸に乘込みし去る廿一日急に旅裝を整へて東京に赴きたるを同行の頭取中村、湊、高崎、高田川より朝日山の許へ通知し來れりと

刺客熱海に現る

▽三浦觀樹將軍を覗ふ　當韓國より入り込みたる尹豐鉉（二五）外二名の刺客本月十日飄然として伊豆熱海町に現はれたり、彼等は普通の日本人と少しも變らぬ風体にて溫泉宿に泊り込み散步と稱しては三浦將軍の別莊附近を徘徊し居たれど將軍は用心してウッカリ外出せず且は刑事外一名の巡查が嚴重に警戒し居る事とて如何ともする事能はず去十六日安重根が死刑の宣告を受けたりと聞くよりは太く落膽したるが如く突然溫泉宿を出でゝ行方不明となりたれば靜岡縣高等課館警部は十七日同地に出張して熱海分署長と打合はせ嚴重に取調中の處彼等は十九日午前八時半田方郡伊東町に入込みたるを發見したりされど何時また熱海へ引返し來らんやも圖られねば將軍の身邊は尙警戒を弛めず依然護衛巡查を附し居れりとなり

又々大砲發見

▽赤銅製の者三門　江華島佛恩面新峴洞に銃器若干を埋藏しなるの風評あるより其筋に於ては之れが搜索を爲したる處同面同洞金學寬なるものゝ邸内の近傍に於て重重約五百斤ある赤銅製の大砲三門を發見したるが埋藏の起因は今より數十年前同地に鎭撫營なる軍隊駐屯し其の軍隊解散に當り兵士等は窃に洞民に依頼し地中に埋沒せしめたるの傳說あるも當時の關係者は洞民も知得せざるを以て審ならされども兵士等は他日發掘して密賣せんとしたるも其の機を得ず以て今日に至りたるものならんと

銃獵家の遭難

▽廿餘名の暴徒の爲に　去る二十日載寧鑛山の事務員渡邊某が海州へ銃獵に出かけ山七面鳥一羽、紅鶴一羽及び鴨六羽を獲て大ひに悅び獲物を一韓人に脊負はせて午後八時頃海州郡靑山面四里中寺洞の酒幕吳聖彥方に一泊したる處午後十一時半頃屋外に五發の銃聲聞ゆると同時に各銃を携へたる二十餘名の暴徒酒幕を包圍したれば渡邊は今までの悅びに引返へて吃驚仰天し逃るに途なく同家の溫突の焚口より床下に逃げ込まんとしたるも焚口狹隘にして入る能はず斯くする間に暴徒は渡邊が裏口より逃走すると思ひけん皆裏口へ廻りたれば渡邊は表口より僅かに身を以て免かれたり是れより先き暴徒が發砲したる際吳聖彥は右の股に擦過傷を負ひ渡邊に同行したる韓人は暴徒に亂打せられたるも幸ひに重傷にあらざりし由而して渡邊が遭難したる元折銃及び彈丸二十發は暴徒の有に歸し暴徒は凱歌を奏して其足にて同郡三谷面下一里内洞面長李天永方に押入り同人を縛して亂打し軍用金を提供せよと迫りて面長が所持したる稅金二十圓を强奪して引揚たる由なるが此賊徒は池寬植の率ひる徒なるべしと云ふ

恐ろしき少女

▽十二歲で待合入り　年齡は僅か十二三の少女にして待合入りを爲したる末恐ろしき少女あり處は仁川本町一丁目金物商村谷吉藏方の雇子守なる山口縣熊毛郡室積町上田龜吉の三女マサと云ふは人並み外れて發育早く未だ肩縫ひ上げの除れぬ處か僅か十二歲の乳臭き分際なるにも拘はらず春を解し同店の雇人なる山口縣大島郡生れの大濱多助（二五）と昨年來情を通じ人目を忍んでの媾曳を續け居たる程に遂ひにはれ湯に行くとて共に家を飛出し宮町三丁目の待合花の屋にて互ひに樂しき契りを結ぶを常とし再昨夜の如きも二階の一室にて密の樣なる夢を結びつゝある處を其筋の人に見咎められ說諭の上放還されたる由なるが前記の多助は自分の慾を滿さんが爲め今迄で羽織の紐、足袋一足リボンをマサに與へて連れ出し居たるものなりとは其情憎むべし

●二十萬圓の牡丹餅

▽遺族等の大喜び　曩に本紙上にて尹仲植が上海に亡命中今より二十年前遂に同地にて客死したれば英國銀行の預金が其儘となり受取人なき爲め同行にても當惑し統監府を經て此度理事廳へ正當受取人の搜索方依賴し來りたるより種々取調べの結果尹仲植の遺族なる者當京城にある事を發見せしかば該遺族等に斯くと告げしに餘り思ひ懸けざる事とて遺族等の喜びは一方ならず愈々預金受取の爲め此程法學士辰市本丸氏を代人として右の金額二十萬圓受取の爲出發せしめたり

●醉漢の拘留三日　仁川樓林洞居住の土方職靜岡生れの中山淸（二七）と云ふは一昨日京町二丁目の街路にて泥醉し上行人の妨害を爲せし廉に依り拘留三日に處せらる

●仁川娼妓の廢業　仁川敷島遊廓内切つての古狸なる日進樓の十郎事松尾うのは一昨日廢業せり

●微笑會　本日土曜日午後三時より日本人商業會議所樓上に於て圓山太嶺師の提唱例會あり參聽隨意

●本願寺の說敎　本土曜日は例に依て本願寺別院に於て午後七時半より說敎ある筈なり



▲龍山座　伊東文夫一派の同座三日目本晚の出し物は佐藤紅綠作の「潮」全六幕にして其の重なる役割は左の如くなり

會社員橫山運平（泉）小學敎員和田新一（池内）坂卷れ妙（西井）野々山岩五郞（芳川）岩五郞子分竹（吉井）桑村新造（橫山）子分松（田中）女學生星野（寶井）女學生春山（津村）米津文子（藤島）子分梅（藤井）米津雄三郞（小泉）女學生秋田（小伊東）岩五郞子分龜（小林）女學生多野（東）坂卷幸介（北秋）村吏唐川（夢路）坂卷富也（高井）坂卷東吾（伊東）

▲歌舞伎座　同座本晚の替り狂言は一番目「軍人曾我」二の替りは新劇「勤王美談野村三千三」を演ずる由なり

▲京城座　常盤劇の同座本晚の藝題は「西南餘聞血の淚」全十一場にして乳貰の場は淨瑠璃入にて御高覽に供すと

平民文庫

▲此の頃の不景氣は全般のことだが僕等の樣な唐變木が考へると質屋だけは却つて繁昌することゝ思つて居たが事實は反對だ相で質屋業者の困難は實に目も當てられぬとのことだ（唐變木）▲質屋では酌婦なぞに飯ぞ碌には食はせぬ相だ何ぼ不景氣でも此れは又極端だ（同情生）▲不景氣な投書が續くこと（小僧）▲去る十七日の晚龍山榮町佐賀床で大喧嘩があつたが稼業用の剃刀で五人は傷けられ出張した巡查も又負傷すると云ふ騷ぎであつたが京龍仁間の位ある新聞に一つも此れが書かれない（波手奈）▲僕は筑波會の幹事である先日梅の家に於て歌留多大會に會員一名を出席と思つたが少し都合があつて國へ歸つた爲め殘念ながら會員を出す事が出來なかつた此の頃新聞紙上に望まるゝ人が大分有る樣放貴社にて催されては如何（筑波會支部長）▲サア……（係）▲西大門内の某高等官々舍に近江生れの女中が居る美人ではないが番茶も出花の十九歲七八日前より奥樣は大韓病院に入院療養中御主人公はれ勤めで御不在なのを幸に出入商人の洋雜貨屋を第一とし女中部屋に引き摺り込んでサンザれ樂しみ御主人のたれ耳に入らぬ間に好い加減になさい（ヤキモチ生）▲未だ好い加減にならないのでしよう（小僧）▲近頃京城の花柳界では大變賭博が流行る表には會席御料理とか牛肉かしわとか立派なかけ行燈を掛けて其の内幕に至れば八八が稼業だ夫れは先づ夫れでよしとして僕が或る晚八丁目附近を散步して居ると空屋とも覺しき内に一點の豆洋燈を中に多少身分あるかとも思はれる丸髷や庇髮の連中が中々の勇氣で御開帳であつたが不都合千萬な（一見生）▲官舍の女中に極めて橫着な奴がある集金又は御用聞きに伺候するに言語擧動實に見るに忍びない彼等は恰も令夫人或は令孃でゞもあるかの樣に心得て居るらしい何か乞食に殘飯でもやる樣に思ふて居るのか殊に妻女の無い官吏の内の女中程此の癖が甚だしい夫れには種々深い事情が伏在して居るのが多々有る樣である以後愼まないと片端から素破拔くぞ（齊二才）▲行り玉へ〳〵（小僧）▲西小門通りの外人娼婦の一團は廿五日朝南大門發京義線列車に搭じて平壤方面へ向け出發したり一行男四、女三合計七（れ玉杓子）

吉凶鏡

本町五丁目　三一館判斷

二月廿六日　舊正月十六日　二黑　佛滅　壬戌　成

△一白●　衰退の日なり新事見合の事保證受印世話事を禁ず△二黑●　非運たり事業始め及●手計爲凶盜害酒色の害を戒しむ△三碧●　過失により疎虞を惹起する勿れ旅行殊に舟行は見合すべし△四綠●　取引賣買貸借間違損害起らんとす帳簿印章の事留意すべし△五黃●　世話引受保證事を禁ず執業執務の上に放心ある勿れ△六白●　快欣の日なり療病衞生に留意すべし農業鑛業には吉△七赤●　利潤を得又勢威を高むるの日なり婚姻入學門等吉△八白●　改易轉變に類する事効擧るべし自他の什寶を過ち毀つ勿れ△九紫●　平凡の日なり旅行斷念すべし轉居轉業は斷行すべし



●天氣豫報（自廿五日午後六時　至廿六日午後六時）

南東風曇但少雨

廿四日（華氏）　最高溫度　四六、〇　最低溫度　一九、八

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部
●望上女中 十五六歳の女子高等官舎上女中見習たし俸給望ます 氏名在社(八)
●店員雇入 十四五歳の希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)
●小供入用 但十五歳以下至急入用 龍山元町三 日韓組米店(電三四三)

物件部
●貸家 西大門内韓國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし御希望の方へ
●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 贊化堂藥店
●老舖讓渡 本町一丁目目抜の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急讓渡したし 旭町一ノ六〇 山村
●貸家 南大門外青野町一戸建新築三間家賃十七圓外に長屋建もあり湯車電車に近く出入便希望の方は電話七四番
●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男子一人温突ならば最佳 氏名在社
●繪葉書讓渡 日韓未使用紀念繪葉書安價讓渡たし 氏名在社(九)

廣告

龍山元町七丁目
佐藤病院
電話二〇三番

入院……隨意
龍山新市街山下町
内科 小兒科 眼科
原醫院

中島醫院
入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主醫學得業士 中島貞信

馬車配達
●●●滋養と牛乳●●●
純良 **牛乳**
京城東四軒町 岡野牧塲 電話壹〇六九番
●●●衛生と消毒●●●

内外科
小兒病
梅毒淋病
入院隨意
京城壽町三丁目
高井醫院
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
電話(二一六)



紙と印刷
諸官衙御用
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
播本商店(ハリモト)
京城本町八丁目 電話百拾番

營業科目
諸官衙御用品調達
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
各學校御用品調達
委託販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山鹽頭合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京橋南鍋町一丁目十番地 電新橋三六九二

醫學士北村一等軍醫正(呼吸器病及消化病擔任)を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す
但し名譽院長出診は毎偶數日(丁日)午後とす
病室落成 入院隨意 貧民施療
贊化病院
本町四丁目 電話二四番

特約販賣
味噌醤油製造元 漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
自製 和洋酒、酒精酢、穀物麺類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、壜辛、日本食鹽各種特約販賣
尚御室に依り商品切手調進仕候

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室(皮膚病黴毒泌尿生殖器科教室)奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒淋病膀胱病生殖器機能障碍ノ診療に從事
診療(午前自八時至午前十二時 夜間自五時至九時)
入院隨意
南大門通三丁目
支那領事館前通 京城郵便局後
電話二一七三番
院主 佐藤伊職
佐藤皮膚病院

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話 一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

外科 内科
梅毒淋病專門 戸田病院
◉京城御成町南大門外一丁南
◉入院隨意
◉電話番號九三八番

御待合 紅葉
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候
京城南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

神戸資生分院
京城梅毒病院
京城相生町(南門湯横)
◎花柳病專門並、痔(注射療法)
●入院隨意●
院長 醫學得業士 廣田鮮平
(電話一一九四)

●**唐津石炭** 直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り
近藤商店
電話八百三十五番

韓國銀行
本店用 電話(長)一、三三一
當直用 電話(長)二、六三〇
當用係 一、三六二
來客用 二六一
臨時建築部用 一三〇二、…
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣、
爲替取引先 東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山(以上日本)釜山、公州、光州、晋州、海州、沙利院、博川、寧邊、義州(以上韓國)大連、(清國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

きゝめのある**温泉湯**
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

諸荒物世帯道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
日用雜貨 卸問屋 西 西崎嘉七本店
京城本町六丁目
電話二一〇、電署(ニカ)
振替貯金口座韓七番

改修落成と電話開通
久しく改修中の處漸々落成仕候間不相變御最負の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

綿わた綿ワタ
たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
卸問屋
京城明治町一丁目四ツ角
唐川商店
電話二六一番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

蒸溜牛乳 消毒
平山牧場
京城大和町一丁目
電話一三三

★株式會社百三十銀行京城支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、高崎、若松、青森、秋田、能代、七尾、高岡
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、
山陰道 大聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、八手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山小郡、長府、網干、
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、德島、普通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌
臺灣 臺北、臺南、
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
京城南大門通
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山 大阪、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候
(利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

日本郵船 株式會社 仁川 瀛船出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 三月十三日後三時出
●大連、太沽牛莊行 高砂丸 三月十九日正午時出
●大連、太沽行 山東丸 三月二日午前六時出
●大連太沽行 酒田丸 三月五日正午時出
●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 三月九日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事